

TOPICS

1

「共育共創コモンズ」本格着工に向け起工式を実施



4月27日、津島キャンパスにおいて、地域・企業の皆さまとの協働を一層充実させることを目的とした施設「共育共創コモンズ」の本格的着工に向けて、起工式を実施しました。

起工式では、榎野博史学長が鍬入れ、清水建設の岩垣尚樹広島支店執行役員支店長が鍬入れを行ったあと、榎野学長、菅誠治工学部長、隈研吾特別招聘教授、岩垣支店長が玉串を奉奠し、関係者全員で工事の安全を祈願しました。

「共育共創コモンズ」は、カーボンニュートラル・脱炭素社会に貢献する、環境に優しい木質系材料CLTを活用した木造建築です。延べ床面積 825㎡の木造2階建てで、300人収容の大規模講義室と、共同研究拠点としての「共創ラボ」機能を重点的に設計し、完成は令和4年12月を目指しています。

参考 https://www.okayama-u.ac.jp/tp/news/news_id11179.html



TOPICS

2

真庭市と包括連携に関する協定を締結

本学は4月27日、真庭市とSDGsの達成に向けた連携・協力を通して、林業・木材・木造建築教育・研究ゾーンの形成、人材育成及び地域活性化に寄与することを目的として、包括連携協定を締結しました。

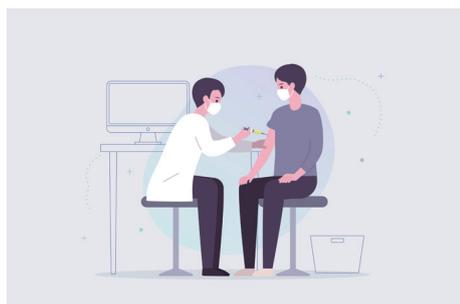
同日開催した調印式では、榎野博史学長、太田昇市長が協定書に署名し、固い握手を交わしました。榎野学長は、「SDGs未来都市である真庭地域の豊かな歴史文化や自然資源を生かして、脱炭素社会・地域循環共生圏を実現させ、地方創生を目指すゾーン構想は、SDGsに貢献し、岡山から世界へ新たな価値を創造していく先駆的取組となる」と話し、太田市長は、「この協定の締結によって、林業・木材・木造建築に関する学術的調査・研究、教育・研究拠点の整備や誘致、人材育成及び他の関係機関との連携が一層進んでいくことを期待したい」と述べました。

参考 https://www.okayama-u.ac.jp/tp/news/news_id11174.html



Pick up!

新型コロナ情報「小児新型コロナウイルスワクチン接種後副反応調査中間報告について」(岡山大学疫学・衛生学分野vol.1)を発行



学術研究院医歯薬学域(医学系)疫学・衛生学分野は、岡山県などと協働で新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の対策を進めています。これらの活動を通じての調査や分析などの研究情報を、いち早く社会の皆様にお届けするためのニュースレター「岡山大学疫学・衛生学分野ニュース(新型コロナ情報)」vol.1を5月24日に発行しました。本ニュースは、専門の方向けではなく、一般の方向けとしてわかりやすい言葉で紹介しています。依然として新型コロナウイルス感染症のパンデミックが収まらない状況でありますので、少しでも皆様の感染対策の参考にしていただける正確な情報の提供につながればと思います。

参考 https://www.okayama-u.ac.jp/tp/news/news_id11230.html



TOPICS

3

岡山大学シンポジウム「岡山県における産業振興とグリーンイノベーションー人材育成と地方創生ー」を開催

4月27日、グリーンイノベーションセンターの新設を記念して、岡山大学シンポジウム「岡山県における産業振興とグリーンイノベーションー人材育成と地方創生ー」を創立五十周年記念館で開催(オンライン同時配信)し、約400人が参加しました。

冒頭、義本博司文部科学事務次官、伊原木隆太岡山県知事からあいさつをいただいた後、細羽紀子中国銀行地方創生SDGs推進部長、榎野博史学長をモデレーターにパネルディスカッションを行いました。パネルディスカッションでは、三浦智美岡山県産業労働部長から「岡山県における産学官連携による産業振興」、上田健二環境省中国四国地方環境事務所長から「SDGs・脱炭素で地方創生へ」、太田昇真庭市長から「SDGs未来杜市「真庭」×グリーンイノベーション」、隈研吾岡山大学特別招聘教授(建築家)から「コロナ後の地方の可能性」と題した発表が行われ、阿部匡伸理事、野上保之副理事からは、学内の関連の取り組みについて発表がありました。自由討論では、「SDGs×地方創生」のあるべき方向性について議論しました。



参考 https://www.okayama-u.ac.jp/tp/news/news_id11189.html

TOPICS

4

令和4年度OUフェロシップ認定証授与式を挙行



4月28日、令和4年度「岡山大学科学技術イノベーション創出フェロシップ」(OUフェロシップ)の認定証授与式を行いました。

OUフェロシップは、認定者に対し、フェロシップ(研究奨学金)として研究費・生活費相当の支援金を支給するとともに、さまざまな取り組みで研究力向上とキャリアパス確保を支援する制度です。本学は、令和3年2月、文部科学省「科学技術イノベーション創出に向けた大学フェロシップ創設事業」の採択を受け、同制度を創設。その後、令和3年9月にJST「次世代研究者挑戦的研究プログラム」にも採択されました。

令和4年度は、書面審査及び面接審査の結果、応募者延べ77人の中から新規に26人を選定しました。

式には、オンラインを含め認定者全員が出席。榎野学長は代表者に認定証を授与し、「この環境を活用するとともに、多くの仲間と切磋琢磨し、『主体的に変容し続ける魅力的な先駆者』に成長していただきたい」とあいさつしました。

参考 https://www.okayama-u.ac.jp/tp/news/news_id11177.html

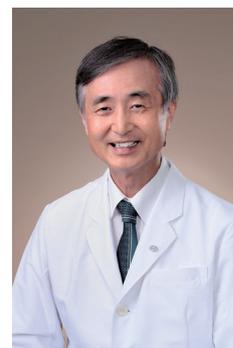
PRESS
RELEASE

岡山大学病院 脳神経外科・耳鼻咽喉科で4K3D外視鏡「ORBEYE(オーブアイ)」を導入

2022年4月、岡山大学病院では脳神経外科と耳鼻咽喉科にオリンパス社製4K3D外視鏡「ORBEYE(オーブアイ)」を導入しました。ORBEYEを用いることにより、3Dメガネをかけることで、手術室にいる全員が、大画面で高精細の4K3D手術映像を同時に共有できます。より良く見えることは、安全確実な手術につながります。医学生や若手医師にとって、執刀医と同じ術野をリアルに実感できること教育効果も極めて高いと考えられます。術者の対面に立つ助手は180度回転させた画面を見ることで、手術のサポートをしっかりと行うことができます。4K3Dの手術動画を後日振り返ることができ、術者教育にもつながります。また、脳腫瘍や脊髄腫瘍、側頭骨病変手術など、長時間の手術でも、楽な姿勢で手術を行えるため、術者の疲労軽減につながります。

* 外視鏡：術野を小さなカメラで写し、術者がモニターを見ながら手術できる装置

参考 http://www.okayama-u.ac.jp/tp/release/release_id966.html



伊達勲教授

